

平成 27 年度 事業報告

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

I. 事業の概要

平成 27 年度は下記のように、研究助成、褒賞、国際交流事業及び普及事業を実施した。

1. 研究活動に対する助成

平成 27 年 7 月、募集要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、研究助成候補者を公募。

締切日(平成 27 年 10 月 9 日)までに 117 件の応募があり選考の結果
下記 15 件の助成を決定。 合計=1,300 万円

- 石井智浩 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科助教)
「カルシウムチャンネルの光操作による機能解析」助成額=80 万円
- 大槻 元 (京都大学白眉センター/大学院理学研究科特定准教授)
「神経細胞樹状突起の共起性シナプス応答解析」助成額=100 万円
- 古賀浩平 (弘前大学大学院医学研究科附属脳血管病態施設助教)
「慢性疼痛が誘発する不安のシナプス機序」助成額=80 万円
- 小原圭吾 (関西医科大学生理学第一講座講師)
「海馬新 CA2 領域を中心とする新海馬地図の解明」助成額=80 万円
- 小山隆太 (東京大学大学院薬学系研究科准教授)
「マイクログリアの脳温への反応機構の解明」助成額 80 万円
- 柴田幹大 (金沢大学理工研究域数物科学系博士研究員)
「スパインの実空間・実時間イメージング」助成額=80 万円
- 常深泰司 (ノースウエスタン大学医学部研究准教授)
「エキソソーム放出障害による神経変性機序」助成額=80 万円
- 鳥山道則 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科助教)
「神経回路網形成における 1 次繊毛の機能解析」助成額=80 万円
- 橋本谷祐輝 (東京大学大学院医学系研究科助教)
「カンナビノイド産生における抑制性入力役割」助成額=80 万円
- 羽鳥 恵 (慶應義塾大学医学部特任准教授)
「網膜神経節細胞の機能解明」助成額=80 万円
- 藤田 幸 (大阪大学大学院医学系研究科助教)
「ミクログリアによる神経細胞の生存維持機構」助成額=80 万円
- 三枝理博 (金沢大学医薬保健研究域医学系准教授)
「中枢概日時計の神経生理学的基盤の解明」助成額=100 万円
- 水関健司 (大阪市立大学大学院医学研究科教授)
「海馬台による投射先特異的な情報処理機構」助成額=100 万円

三好悟一^{みよしごいち}（東京女子医科大学医学部助教）

「FoxG1 による GABA 回路形成制御機構」助成額=100 万円

山下貴之^{やましたたかゆき}（名古屋大学環境医学研究所助教）

「大脳皮質領域間をつなぐ投射シグナルの解析」助成額=100 万円

2. 研究に対する褒賞

平成 27 年 7 月、推薦要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、塚原仲晃記念賞受賞候補者の推薦を公募。

締切日（平成 27 年 10 月 9 日）までに、18 件の推薦があり、選考の結果下記 2 件の授賞を決定。褒賞額=各 100 万円

坂場武史^{さかばたけし}（同志社大学大学院脳科学研究科教授）

「中枢神経系におけるシナプス伝達の生理学」

樋口真人^{ひぐちまこと}（放射線医学総合研究所分子イメージング研究センターチームリーダー）

「アルツハイマー病モデルの生体イメージング」

3. 国際交流助成

(1) 海外派遣研究助成

平成 27 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外派遣研究助成候補者を公募。

締切日（平成 28 年 1 月 8 日）までに、6 件の応募があり、選考の結果下記 1 件の助成を決定。助成額=25 万円

内田裕之^{うちだひろゆき}（慶應義塾大学医学部専任講師）

「神経科学に基づいた向精神薬の命名法」について

神経科学に基づいた向精神薬の命名法タスクフォース会議に

パネリスト・指定討論者として参加。アトランタ。

(2) 海外研究者招聘助成

平成 27 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外研究者招聘助成候補者を公募。

締切日（平成 28 年 1 月 8 日）までに、9 件の応募があり、選考の結果下記 7 件の助成を決定。合計=175 万円

申込者：田中幹子^{たなかみきこ}（東京工業大学大学院生命理工学研究科准教授）

アンソニー・グラハム氏（ロンドン大学キングスカレッジ教授）を

第 22 回国際動物学会議（ICZ）シンポジウム及びサテライトワークショップにおける講演者として招待。助成額=25 万円

研究テーマ「頭部神経プラコードと頭部神経堤の発生機構」

申込者：羽倉信宏^{はぐらののぶひろ}（脳情報通信融合研究センター研究員）

アーコ・ゴッシュ氏（チューリッヒ工科大学グループリーダー）を

第 39 回日本神経科学大会シンポジウム及び脳情報通信融合研究センター

における講演者として招待。助成額＝25万円

研究テーマ「随意運動制御と体性感覚処理」

申込者：戸田重誠^{とだしげのぶ}（金沢大学附属病院講師）

コヤ・エイスケ氏（サセックス大学講師）を

第39回日本神経科学大会シンポジウムにおける講演者として招待。

研究テーマ「報酬関連手がかりをコードする神経細胞の電気生理学的・シナプス機能的特性」助成額＝25万円

申込者：田淵明子^{たぶちあきこ}（富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）准教授）

アン・エリザベス・ウェスト氏（デューク大学 Associate Professor）を

第39回日本神経科学大会シンポジウム及び国内機関でのセミナー

における講演者として招待。助成額＝25万円

研究テーマ「神経活動依存的な遺伝子発現の制御と機能」

申込者：森下博文^{もりしたひろふみ}（マウントサイナイ医科大学助教授）

キム・ドー・クエノー氏（ローザンヌ大学教授）を

第39回日本神経科学大会シンポジウムにおける講演者として招待。

研究テーマ「前頭葉の発達制御機構：精神疾患への示唆」助成額＝20万円

申込者：酒井雄希^{さかいゆうき}（(株)国際電気通信基礎技術研究所研究員）

スザンヌ・エリザベス・アーマリ氏（ピッツバーグ大学 Assistant Professor）を

第39回日本神経科学大会シンポジウムにおける講演者として招待。

研究テーマ「強迫性障害のトランスレーショナルリサーチ」助成額＝25万円

申込者：入来篤史^{いりきあつし}（理化学研究所 BSI シニアチームリーダー）

ウォルフラム・シュルツ氏（ケンブリッジ大学教授）

第39回日本神経科学大会での Plenary Lecture における講演者として招待。

研究テーマ「脳における価値とリスクの情報処理」助成額＝30万円

4. 普及啓発事業

(1) 講演会等の開催

①「塚原仲晃記念賞」受賞記念講演会

平成27年7月28日（火）午後5時30分から午後6時30分

神戸国際会議場メインホール、第29回（平成26年度受賞者）塚原仲晃記念賞受賞記念講演会を開催。対象は脳科学関係の研究者。参加者約500名。入場無料。

②「脳の世紀」シンポジウム

平成27年9月16日（水）午前10時20分より有楽町朝日ホールにて「脳の世紀」シンポジウムをNPO法人脳の世紀推進会議と共同開催。

特別講演及び脳を知る・脳を守る・脳を育む・脳を創るの各テーマについて講演。対象は一般市民。参加者約700名。入場無料。

特別講演：「対談とピアノ演奏」

舘野 泉（ピアニスト）

（対談：樋口輝彦（国立精神・神経医療研究センター理事長））

脳を知る：「耳に聞こえない高周波が音楽の感動を高める」

本田 学（国立精神・神経医療研究センター神経研究所部長）

脳を守る：「神経疾患に対する音楽療法：音楽がもたらす脳の可塑性」

佐藤正之（三重大学大学院医学系研究科准教授）

脳を育む：「聴くことで発達する脳～鳥が歌を学習する仕組み」

杉山（矢崎）陽子（沖縄科学技術大学院大学准教授）

脳を創る：「講演とピアノ演奏 音楽家の脳～脳のやわらかさの光と闇」

古屋晋一（上智大学准教授／ハノーファー音楽演劇大学客員教授）

③「世界脳週間」の開催

「世界脳週間」を NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。

平成 27 年度は春から秋にかけて全国の下記 14 会場にて開催し、公開講演、討論、病院や研究所の公開、学校訪問などを実施。対象者は中高校生及び学校関係教職員と一般市民。参加費無料。

奈良女子大学附属中等教育学校、新潟大学脳研究所、群馬大学昭和キャンパス基礎大講堂、名古屋市立向陽高等学校、岡崎市げんき館 3 階講堂、京都市立堀川高等学校 5 階講堂、国立精神・神経医療研究センター神経研究所、広島大学第 4 講義室、大阪大学生命機能研究科生命システム棟、北海道大学医歯学総合研究棟、理化学研究所大河内記念ホール、玉川大学、東北大学萩ホール、桜蔭学園

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンで、1993 年アメリカ合衆国での開催を皮切りに全世界に拡大し、我が国は 2000 年に参加。

(2) 広報活動

研究報告集：第 28 回塚原仲晃記念賞受賞者及び第 28 回研究助成受領者の研究報告を「ブレインサイエンス・レビュー2016」として編集。

II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

(1) 理事及び監事

平成 28 年 3 月 31 日現在の理事・監事は別紙に記載のとおり。

(2) 理事会

平成 27 年度第 1 回理事会（平成 27 年 5 月 11 日開催）

決議事項

①平成 26 年度事業報告

②平成 26 年度収支決算報告

報告事項

①平成 26 年度会計監査執行の報告について

②代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告について

平成 27 年度第 2 回理事会（平成 28 年 3 月 7 日開催）

決議事項

- ①第 30 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 29 回国際交流助成の選考について
- ②平成 28 年度事業計画について
- ③平成 28 年度収支予算について
- ④選考委員の選任について
- ⑤特定個人情報等管理規程の制定について
- ⑥論文査読規程の一部変更について

報告事項

- ①代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告について

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

平成 28 年 3 月 31 日現在の評議員は別紙に記載のとおり。

(2) 評議員会

平成 27 年度定時評議員会（平成 27 年 6 月 10 日開催）

報告事項

- ①平成 26 年度事業報告
- ②平成 26 年度会計監査執行の報告について

決議事項

- ①平成 26 年度収支決算報告
- ②理事の選任について（中途退任に伴う）

平成 27 年度第 1 回臨時評議員会（平成 28 年 3 月 23 日開催）

承認事項

- ①第 30 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 29 回国際交流助成の選考について
- ②平成 28 年度事業計画について
- ③平成 28 年度収支予算について
- ④特定個人情報等管理規程の制定について
- ⑤論文査読規程の一部変更について

3. 選考委員に関する事項

(1) 選考委員

平成 28 年 3 月 31 日現在の選考委員は別紙に記載のとおり。

(2) 選考委員会

平成 27 年度選考委員会（平成 28 年 2 月 17 日開催）

協議事項

- ① 第 30 回塚原仲晃記念賞受賞者の選考

- ② 第 30 回研究助成受領者の選考
- ③ 第 29 回国際交流助成受領者の選考

4. 顧問に関する事項

平成 28 年 3 月 31 日現在の顧問は別紙に記載のとおり。

5. 事務局職員に関する事項

事務局長 佐藤裕子

事務局員 小杉夏子

6. 登記に関する事項

平成 27 年 4 月 17 日：評議員の変更登記（東京法務局提出）

平成 27 年 6 月 18 日：理事の変更登記（東京法務局提出）

7. 寄附金に関する事項

寄附金収入額は 5,000,000 円（企業 1 社より）

理事及び監事

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

理事長	廣川 信隆	東京大学大学院医学系研究科特任教授
常務理事	川合 述史	千葉・柏リハビリテーション病院精神神経センター長
	貴邑 富久子	横浜市立大学名誉教授
理事	伊藤 正男	理化学研究所脳科学総合研究センター特別顧問
	久保田 競	国際医学技術専門学校副校長
	永津 俊治	名古屋大学及び藤田保健衛生大学医学部名誉教授
	御子柴 克彦	理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー
	尾高 和浩	本田技研工業株式会社執行役員
監事	伊藤 醇	公認会計士
	遠藤 邦夫	本田技研工業株式会社監査役

評議員

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

議長	大塚 正徳	東京医科歯科大学名誉教授
評議員	鈴木 良次	金沢工業大学研究支援機構顧問
	津本 忠治	理化学研究所脳科学総合研究センター サイエンスコーディネーター
	外山 敬介	株式会社 ATR 脳情報研究所招聘研究員
	三品 昌美	立命館大学総合科学技術研究機構教授
	水野 昇	京都大学名誉教授

選考委員

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

委員長	宮下 保司	東京大学大学院医学系研究科教授
委員	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部教授
	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科教授
	影山 龍一郎	京都大学ウイルス研究所教授
	狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科教授
	川人 光男	株式会社 ATR 脳情報研究所長
	後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科教授
	酒井 邦嘉	東京大学大学院総合文化研究科教授
	高橋 良輔	京都大学大学院医学研究科教授
	山脇 成人	広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授

顧問

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

川本 信彦	本田技研工業株式会社最高顧問
佐野 豊	京都府立医科大学名誉教授
椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム元会長
塚原 眞佐子	故塚原伸晃教授夫人